

佳作

日光東照宮を見て

埼玉県 秩父市立花の木小学校六年 諸倫太郎

夏休みに、日光東照宮に行った。東照宮は、江戸時代最初の将軍の徳川家康のお墓がある場所だ。ぼくは、日本の歴史が好きで、歴史のマンガを読んでいる。その中にも、東照宮がのっけていて、前から行きたいと思っていたので、とても楽しみにしていた。はじめにおどろいた事は、境内の広さだった。長い坂道の表参道を歩いて、やっと着いたと思ったら、さらに表門まで五十メートルくらいあった。わくわくしながら、表門をくぐると目の前に、たくさんの建物が現れた。

東照宮に行くことが決まってから、東照宮の事を色々調べていた。そして、東照宮の建物には動物の木ぼりが多く見られ、この動物たちのほとんどが平和を表していることを知り、探してみたいと思っていた。最初に見つけたのが想像の象、次に見ざる・

言わざる・聞かざるの三ザル、眠り猫など、調べていた物を実際に見ることができて、とても感動した。また、面白いと思ったのは、東照宮薬師堂の鳴き龍だった。建物の天井に龍の絵が描かれていて、龍の顔の所で音を鳴らすと、鈴を転がしているような音がして、まるで龍が鳴いているように聞こえた。しかも顔以外の場所で音を鳴らしても、鈴の音が聞こえないという事に、とてもおどろいた。あまりに感動したので、鳴き龍の鈴のお守りを買うことにした。

その後、二百七段の階段を登って、徳川家康のお墓がある奥宮まで行った。日光の山の頂上にお墓を作ったのは、徳川家康が亡くなった後、神となって、自分が治めた関東を見守るためだと考えられている。日光の深い森の中で、歴史のある建物やちょう刻を見ていると、本当に神様が居るような感じがした。東照宮は、パワースポットと言われていろいろらしいが、本当に不思議な元氣になれる力をもらえたような気がした。

建物の他にも、徳川家康が使っていたヨロイやカブト、また江戸時代の道具や書物などがたくさんあって、とても勉強になった。

これからも、もっともっと歴史の勉強をして、また、世界遺産「日光東照宮」に来てみたいと思った。そして、東照宮だけではなく、その他の歴史的な有名な場所に行って、実際に自分の目で見て、色々な事を感じてみたいと思った。